



ほらあがったよ!

大空で勇壮に

第36回旧正風揚げ大会

2月20日(日) 野市ふれあい広場で「第36回旧正風揚げ大会」が開催され、約1,000人の親子連れらが景品の当たる札をばらまく「トバシ」などを楽しみました。

この大会のメインイベントと言えば、今年で10年目を迎える「100畳風」。昨年と同じく曇り空で風がほとんど吹かず、一時はあきらめムードも。しかし、みんなの「今年こそ揚がって!」という願いが通じたのか、4回目の挑戦で約250kgの巨大なからだが見事に風を捕まえ、いざ大空へ。同時に大きな歓声と拍手が沸き上がり、遙か上空を約20分間気持ち良さそうに泳いでいました。

この度の風揚げ大会におきまして、見物客3人の方が負傷する事故が発生しました。関係者の皆さまに対し、深くお詫びいたします。
今後、このような事故が起こらないよう、事故防止対策に努めて参ります。
— 野市町土佐風保存同好会 —



家族そろってエコまつり

野市小学校「のいちエコまつり」

1月29日(土) 野市小学校で「かかわろう!つなごろう!のいちのエコまつり」と題したイベントが開催されました。運動場にはたくさんの出店が並び、体育館の舞台ではさまざまな発表や上映が行われました。

マイ箸、マイ皿、マイバッグを手にした保護者や近隣住民が大勢訪れた会場では、エコのみ焼きやエコちぢみなど環境に優しい商品がずらり。元気な声で来場者を呼び込む児童生徒や、草笛や紙てっぽうに大はしゃぎする子どもたちの姿が多く見られ、元気いっぱいの日でした。



家内、地域の安全を願って

西川どんど焼き



1月23日(日) 香我美町口西川の西川公民館広場で、毎年恒例の「どんど焼き」が行われ、地域住民ら約60人が集まり無病息災を祈りました。神事後、青竹で組んだやぐらに、持ち寄った正月飾りやしめ縄、人形などを入れて着火。勢いよく炎が上がり、参加者は「どんどん」と竹がはじける音とともに立ち上る煙をからだに浴びせ、今年1年の健康や安全を祈願しました。
また、振る舞われたカニ汁やお汁粉に身も心も温まり、笑顔の輪が広がりました。

こうやってできるんだ!

シイタケのコマ打ち体験

2月19日(土)のいち憩いの森で、市内の小学生約30人が「シイタケのコマ打ち体験」をしました。

まず、森のゴミ拾いや、きのこの役割や生態について学習した後、クヌギの原木にシイタケの種ゴマを打ち込む作業に挑戦。次々に木槌で「トントン」とリズム良くコマを打ち込む音が、辺りに心地良く響いていました。作業終了後、子どもたちは振る舞われたきのこ汁に舌鼓を打ちながら「コマ打ちは簡単やった。シイタケができるのが待ち遠しいなあ」と話していました。



親子で体験! 本は面白い

のいち子ども図書館クラブ



2月6日(日)野市中央公民館でのいち子ども図書館クラブ主催の2010国民読書年にちなんだ『おはなしの集い』が開催され、子どもと保護者43人が参加しました。

図書館クラブとボランティアの中・高・大学生による読み聞かせでは、大型絵本や紙芝居に子どもたちは興味津々。また、絵本カバーを使ったエコバッグ作りは、昼食も忘れるほど夢中になる子どもの姿も。図書館クラブの山中会長は「子どもは大人が思っている以上に本が好き。子どもたちの心を豊かにしたい」と、本を通じた活動に意欲的でした。

「鬼も内!」

吉川みどり保育所

2月3日(木)吉川みどり保育所で、子どもたちの健やかな成長を願い節分を祝う行事が行われました。

園児らは、自分で作った「鬼」の面を被りホールに集合。先生からの節分の話に聞き入っていました。「外見だけで判断しないで。心の優しい鬼もいます」と先生がお話すると、職員扮する赤鬼と青鬼が登場!鬼の姿に泣き出す子どももいましたが、厄除けの豆を鬼に配ってもらううれしそうに手を出し、みんなで楽しく食べました。



おいしくな〜れ

香我美中学校1年生総合学習 餅つき



2月1日(火) 香我美中学校1年生57人とその保護者らが、昨年収穫した餅米を使って「餅つき」を行いました。生徒たちは田植えから稲刈りまで体験し、米作りの苦労や収穫の喜び、食べ物大切さを学習。この日は先生やヘルスメイトの指導で、餅米を蒸す班、餅つき班、餅を丸める班に分かれ、みんなで協力しながら手際良く作業をしていました。生徒たちは「今まで食べたお餅の中で一番おいしい!」と満足げ。でき上がったお餅は、お世話になったJAやみかんの里に配られました。

